

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2012-107556(P2012-107556A)

【公開日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2010-256160(P2010-256160)

【国際特許分類】

F 0 1 N 3/01 (2006.01)

F 0 1 N 3/033 (2006.01)

F 0 1 N 3/037 (2006.01)

F 0 1 N 3/02 (2006.01)

B 0 3 C 3/15 (2006.01)

B 0 3 C 3/40 (2006.01)

B 0 3 C 3/41 (2006.01)

B 0 4 C 5/04 (2006.01)

B 0 3 C 3/49 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 N 3/02 3 1 1 D

F 0 1 N 3/02 3 0 1 F

B 0 3 C 3/14 Z A B D

B 0 3 C 3/40 A

B 0 3 C 3/41 B

B 0 4 C 5/04

B 0 3 C 3/49

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月30日 (2013.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 3 】

次に、図 3 に第 3 の実施例装置として示すディーゼルエンジン排ガス処理装置は、管状捕集部 1 の集塵電極を構成する捕集管 1 - 1 の下流側端部にテーパ状に拡径するテーパ管状部 1 - 1 d と該テーパ管状部に連なる大径管状部 1 - 1 e を形成し、前記大径管状部 1 - 1 e の軸心部付近に低濃度排ガス導出管 3 と内周面付近に高濃度排ガス導出部 1 - 1 b を連設した構成とした以外は、前記図 1 又は図 2 に示すディーゼルエンジン排ガス処理装置と同様の構成を有するものである。かかる構成のディーゼルエンジン排ガス処理装置の場合は、捕集管 1 - 1 の下流側端部において、高濃度排ガス流がテーパ管状部 1 - 1 d により徐々に減速され、大径管状部 1 - 1 e 内周面付近に連設した高濃度排ガス導出部 1 - 1 b に P M を確実に導入させることができる。なお、放電電極 1 - 2 の電極針 1 - 2 b は、捕集管 1 - 1 の下流側端部のテーパ管状部 1 - 1 d にまで連続して設けると更に好ましい。